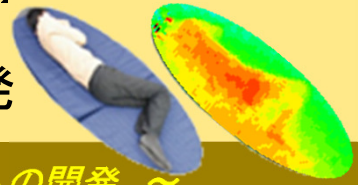


介護の負担を軽減する 24時間安心見守りシステムの開発



～ 三次元距離画像センサーを用いた見守りシステムのアルゴリズムの開発 ～

連携機関 | 有限会社はるかぜ 他
研究期間 | 平成23年度[受託研究]

技術支援のきっかけ

- ◆ 介護現場ではベッドからの転落事故に備え、昼夜問わず見守る必要があるため、極めて大きな負担を強いられてきました。
- ◆ 既存の見守り装置は、誤検知やプライバシーがないなどの課題がありました。
- ◆ そこで、これらの課題を解決できる見守りシステムの開発への協力要請がありました。

技術支援の成果

- ◆ 西部工業技術センターは、保有する画像処理技術を用い、画像中の人を検知しその姿勢に応じて危険度を判定するという、システムの核となるアルゴリズムを開発しました。
- ◆ システムの三次元距離画像センサーは、人の詳細な容姿を映さず、暗闇でも使用できるため、プライバシーを守りながら24時間の見守りが可能です。



技術支援の活用場面

- ◆ 現在製品化され、県内の介護施設に導入されています。
- ◆ 三次元距離画像センサーは人や物の検知の他、ロボットの視覚センサーや人間の動作解析など、幅広い分野に活用できます。

問い合わせ先 | 西部工業技術センター生産技術アカデミー 技術支援部 | TEL 082-420-0537